

# 青山

AOYAMA

## 梅窓院通信

No.25 2006/01/01 新年号

お寺の顔といえば本尊さま、  
本尊のいらっしやらないお寺はありません。  
そして浄土宗の本尊さまは阿弥陀さまです。  
江戸時代からの梅窓院本尊阿弥陀さまに  
いままでに何人の方が  
手を合わせられたのでしょうか……。

梅窓院本尊 阿弥陀如来立像

住職挨拶

梅窓院第二十五世  
中島 真成



みなさん、明けましておめでとう  
ございます。平成十八年を迎えまし  
たが、お元気のこととお喜び申し上  
げます。

梅窓院も新しい伽藍となり三年目  
を迎えるわけですが、少しずつなが  
ら色々な行事が定着してきたように  
思います。特に昨年は二年前に復活  
させました十夜が盛況で、若い方、  
それこそ幼稚園から高校生までに参  
加いただきました。どうしてもお寺  
というとお年寄りというイメージに  
なりがちな中で、こうした幅広い年  
齢の方に参加してもらえるのは嬉し  
いことです。

十夜は浄土宗だけでしか行われな  
い特別な行事で、念仏を称える中に、  
五穀豊穡への感謝の気持ちも含める  
法要です。そうしたことから法要後  
に芋煮の会を始めたのですが、思っ  
た以上に好評のようです。郡上踊り  
はだいぶ有名になりましたが、この  
十夜の芋煮も青山名物になって欲し  
いと思っています。また、年末のワ  
ダエミさんの衣装展もテレビ取材が  
入るなど、大きなイベントとなりま  
した。

多くの人が集まる寺。今年もファ  
ンデンフックさんのピアノコンサ  
ートを予定していますが、お寺に来て  
もらう中で仏教に触れてもらう、今  
年もそんな一年にしたいと思ってい  
ます。

■お忙しい中、御時間をいただきありがとうございます。今日は檀家総代として、同時に新生梅窓院の生みの親としてお話を伺わせて下さい。

生みの親は少し大袈

姿だなあ（笑）。

■少し大袈裟ですか、でも さんのアイデアや努力なして今の梅窓院は語れないと聞いています。

確かにそういう所もありますけれど…。それよりこれ新年号だよ。まず檀家総代として檀家のみなさんにご挨拶しないと。「檀家総代を務めさせていただいております ですね。みなさん明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。」

■そうでした、新年号でした。ついお話が聞きたくてうっかりしていました。

ははは。で、今の梅窓院だけど、もともとのスタートは先代の中島真哉住職まで遡るんだ。

■ホテル建設の話ですか？

そうそう。最初に私が梅窓院に来たときは真哉住職が亡くなった直後で、住職は人が集まる場所にしたということ、ホテル建設の計画中だった。それが住職と建設会社の社長の2人がお亡くなりになり、3年の間空白の時間ができたんだ。

■先代住職が遷化されたのが15年前ですね。

そう、そして今の住職から先代の意志を継ぎたい、と相談を受けたんだ。その時の新住職の言葉は忘れない。寺院は文化、芸術、学問、そして商業までも含めたあらゆる情報の発信基地で、青山の復権のためにも、父の思いを形にしたい、ってね。

■ さんは長谷工コーポレーションにお勤めですから、新住職も相談しやすかったのですね。

新住職も先代同様ホテル案をもっていた。だけど時代も変わりホテル事業は成り立ちにくかった。で、代替案を考えるんだけど、住職から二つの提案があった。一つは檀信徒さんから寄付を一切集めないこと。そして梅窓院の境内を一坪たりとも減らさないこと。

■土地を売ってお金を作らない、皆さんからもお金は集めないということですね。

二つとも難しい条件だよ。だってお金が有り余っているならいざ知らず、事業にお金はかかるからね。

■そこで さんが定期借地権を提案されたのですね。

そう、実は今の借地借家法というのは戦中に成立したもので、戦争未亡人の住まいを守ろうというのが出発点なんだ。だから簡単にいうと借りている側が強い。どこのお寺でも戦中戦後に近隣に好意で土地を貸してあげたのはいいけど、なかなか返してもらえないっていうのが多いんだよ。

■聞いたことがあります。

そうした中、昭和60年頃にこの法律を見直すという動きの中でこの定期借地権が生まれた。

■具体的にどういう法律ですか？

決められた期限がきたら借りた土地を更地にして返すか、あるいは建てた建物をそのまま返すとい

うもの。そしてどちらにするかは貸した方が決められる。期間は形態により20年、30年、そして50年以上。

■梅窓院は50年ですよ。

そう、50年。50年と聞くと普通の人は驚く、だって50年後はもう自分はいないって思う人の方が多いからね（笑）。

■そうですね。30歳過ぎてたら50年後はもう平均寿命ですからね。

だけど、それは一般の人の話で、普通は50年後はわからない。でも50年が長くないケースがある。そう、それがお寺さん。お寺さんの歴史は桁が違うんだ。住職は代わってもお寺は続く。

■この梅窓院はもう350年以上、今の住職が25代目ですよ。

実はこの梅窓院の前に2回この定期借地権を利用したことがあってね。最初が原宿の穂田神社、2度目が外務省の外郭団体、そして3度目が梅窓院。で、4度目は大崎にある居木神社。

■つまり、四つのうち三つが神社仏閣なんですね。

まさに長い時間でものごとを計れるお寺や神社にはこの定期借地権はぴったりなんだ。この話を住職はすぐ理解してくれた。あとは事業性と安全性を考えてどこに貸すかだけだった。

■なるほど。それでCSKという大きなコンピューター会社にしたのですね。

これで定期借地権設定で入る保証金で伽藍を建てられるし、境内も一坪も売ることがない。住職の二つの要望をかなえたし、そして何より新しい伽藍には多くの人たちが集まれる場所が作れる。「人が集まれるお寺」、これは先代も新住職も同じ夢だからね。

■そうなんですね。ところで、建築のプロでまだ若い さんが檀家総代になられたきっかけは何だったんですかね？

実は梅窓院の事業をした頃、それまでの菩提寺と仲違いしちゃってね。

■何で仲違いされたんですか。それは次号で伺わせて下さい。



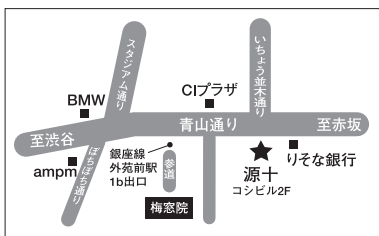
#### プロフィール

昭和25年12月24日、名古屋生まれ。中央大学商学部を卒業し長谷工コーポレーションに入社。44歳の若さで取締役となり現在常務取締役。梅窓院とは先代住職時代に縁を結び、新生梅窓院本堂再建では陣頭指揮をとる。平成17年4月より檀家総代に就任。

## 江戸料理 そば「うどん」源十

「一杯飲んだあとにそばが喰いたい」というオーナーが一昨年十一月にオープンさせた深夜三時まで営業のそばと江戸料理の店。イチョウ並木を見下ろす絶好のロケーションと豆腐を中心にした江戸時代の料理を再現したという珍しい品々が味わえるお店で、夜がふけるほどに客足も増えるとか。

深夜営業ゆえ開店時間も遅く、法事帰りにとはいかないが、この店で飲むためだけに直す価値は十分ある。葉山直送の地魚、絶品の嶺岡豆腐、しめにお薦めかき揚げそば、と美味に杯も重なる。日曜定休だが、人数によってはお清めの席も準備できるとのこと。親族郎党で一杯いきますか。



営業時間/月～土17:30～翌3:00 (L.O 翌2:30)  
祝 日16:00～24:00 (L.O 23:30)  
住 所/〒107-0062  
東京都港区南青山2-11-14コンビル2F  
TEL&FAX/03-3401-1115



神宮外苑イチョウ並木突き当たりの2階がお店。



江戸料理の人気一品、豆腐三珍。右から味噌漬豆腐、嶺岡豆腐、五瀬豆腐で1400円。奥は蒸し茄子、730円。

## 青山俳壇

選者「ウエップ俳句通信」編集長

大崎紀夫

### ◎特選

○紫蘇しその実こぼろの小箆こぼろに青さ増しにけり  
(評)平明で、語呂のよさ。声に出して読むとこの句の持つ魅力がすぐわかります。

### ◎佳作

- 天草の空青あまのぞくして曼珠沙華
- 梵鐘ぼんねうの余韻花野を流れけり
- コスモスの風通りゆく体育館
- 嗟峨菊さあかきくのすがたまぶしきほど光る
- そばの花白きうねりとなりけり
- 背のびして大きぶどうを切る子かな
- 秋彼岸墓前に香の煙立つ

### ◎選者詠

○駅を出てすなはち雑木紅葉かな

大崎 紀夫

〈フンポイントアドバイス〉  
「身ほとりの句」という、日常生活のこまごまを詠むのを得意とする人がいる一方、それが苦手によく吟行に出かけて「風詠句」を作る人がいます。その場合、そこに行かなかった人にも分かるような句を作ることが大切で、余り知られていない地名などを使うときはよく考えてみた方がいいと思います。

### 投句募集

今回は「冬の季語」でご自由にお詠み下さい。1月15日を締切、3月発送の「春彼岸号」にて発表致します。住所、氏名をお書き添えの上、ご応募下さい。皆さまの投句をお待ちしております。

〒107-0062 港区南青山2-26-38  
梅窓院「青山俳壇」投句募集係

### 「やぶれ傘」会員募集

青山俳壇の選者、大崎紀夫先生による俳句の会です。ご興味のある方は、下記の番号までご連絡下さい。

ウエップ編集室  
電話03-5368-1870

## 我が家の雑煮

# 食は命

第二十一回

食養研究家  
武鈴子

雑煮は一年の無事を祈って正月三が日にいただく伝統的な日本料理ですが、地方によってお餅の形や中に入れる具の種類もことなり千差万別です。私の郷里鹿兒島の雑煮は、澄まし仕立てで丸餅を焼いて入れ、鶏肉、紅白の蒲鉾、小松菜、椎茸などでした。

富山出身の友人に教えていただいたぶり雑煮は、ぶりは年内に塩をしておいて使う前にほどよい加減に塩抜きし、刺身よりもやや大きめに切って、たっぷりの白髪葱と昆布、柚子の細切りを上に乗せたものですが、味わい深い雑煮で私も正月にはよく真似て造ったものです。

また、金沢生まれの友人のお家でいただいた雑煮は、お餅や具材の他に煎りゴマをよく搗って砂糖少々と出汁で伸ばした甘めのゴマダレが加えられたもので、食べた後はからだかぼかぼかと温まってきて風邪など吹き飛んでしまいそうな滋養食でした。

結婚して家庭を持つと主人の実家の味、主婦の里方の味、時の流れと共に夫婦で作上げた家庭の味があり、一日ずつそれぞれの味をいただくには三が日は好都合のようです。

しかし近年は、一家揃って雑煮を祝う風習も少なくなり、若い人は海外旅行やスキーに出かけ、お家には老夫婦だけという核家族が増えているご時勢。お家で正月を過ごす家庭でもおせち料理を造るところは少なく、有名料亭やデパートの既成のものが人気を呼んでいるようです。

せめてお雑煮だけでも“我が家の味” “ママの味” で新年を祝いましょう。

## 行事予定

### 仏教講座

全講座 午後6時～8時  
受講無料・観音堂

仏・菩薩 —その教えと信仰

勝崎 裕彦 先生  
香蓮寺住職／大正大学教授

第3回 2月16日(木)  
「大乘の如来—はるかなる教え」

中国の名寺・名山

阿川 正貫 先生  
浄土寺住職／大正大学講師

第3回 2月27日(月)  
「中国の名寺・名山 その3」

法然上人伝を読む

新井 俊定 先生  
天然寺住職／大正大学出版会主管

第2回 2月20日(月)  
「比叡山での修行から浄土宗開宗」  
第3回 3月13日(月)  
「念仏の教化と法難と流罪」

### 第37回 念仏と法話の会 3月6日(月)

受付開始 午後12時半～  
別時念仏／法話／茶話会  
講師 宮城来迎寺 奥山清康上人

### 春彼岸会法要・寄席 3月20日(月)

はなまつり  
4月3日(月)～8日(土)

団体参拝旅行  
仙台・定義山 西方寺の旅  
5月13日(土)・14日(日)

郡上おどり in 青山  
6月24日(土)・25日(日)



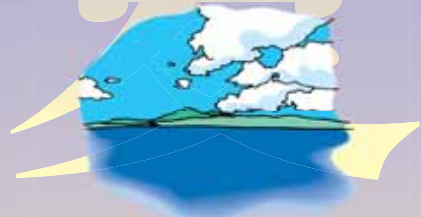
※予定は変更になる事もございます。ご了承下さい。

平成十八年度

年間行事予定

### 孟蘭盆会法要 7月13日(木)

大施餓鬼会法要  
7月21日(金)



秋彼岸会法要・寄席  
9月23日(土)

文化講演会  
10月中旬予定

十夜法要・芋煮会  
11月18日(土)

ファンデンフック  
ピアノリサイタル  
12月上旬予定



編 集 後 記

青山新年号の表紙は、梅窓院のご本尊、阿弥陀さまです。仏様は私たち人間の理想の姿と言われ、慈悲の心と知恵の光を象徴する仏様が阿弥陀仏です。

私たちが新年を迎え、この一年が無事平穩に過せるようお願い、阿弥陀さまのお姿に近づけるよう、優しい心と表情で生活できるように意識したいですね。

### 第5回文化講演会

10月29日



俳人の黨まどかさんと浄土宗宗務総長の水谷幸正上人に講演して頂きました。写真は水谷総長。

### 第36回念仏と法話の会

10月4日

十一月の  
行事報告

### 十夜法要 11月19日



法務部による生バンド演奏は、皆さんの手拍子つきで盛り上がりました。



芋煮会の様子。お年寄りから子供連れまでお越し頂き、賑わいました。

発行／梅窓院  
発行日／平成18年1月1日  
発行人／中島 真成  
編集／青山文化村  
住所／〒107-0062  
東京都港区南青山2-26-38  
電話／03-3404-8447  
FAX／03-3404-8107  
ホームページ／<http://www.baisouin.or.jp/>  
E-Mail／[jodo@baisouin.or.jp](mailto:jodo@baisouin.or.jp)  
題字／浄土門主総本山知恩院門跡  
第八十六世中村康隆猥下